

宿泊税の使途について

令和 7 年度第 2 回ニセコ町観光審議会
2025年11月 ニセコ町



ニセコ観光圏
NISEKO TOURISM ZONE



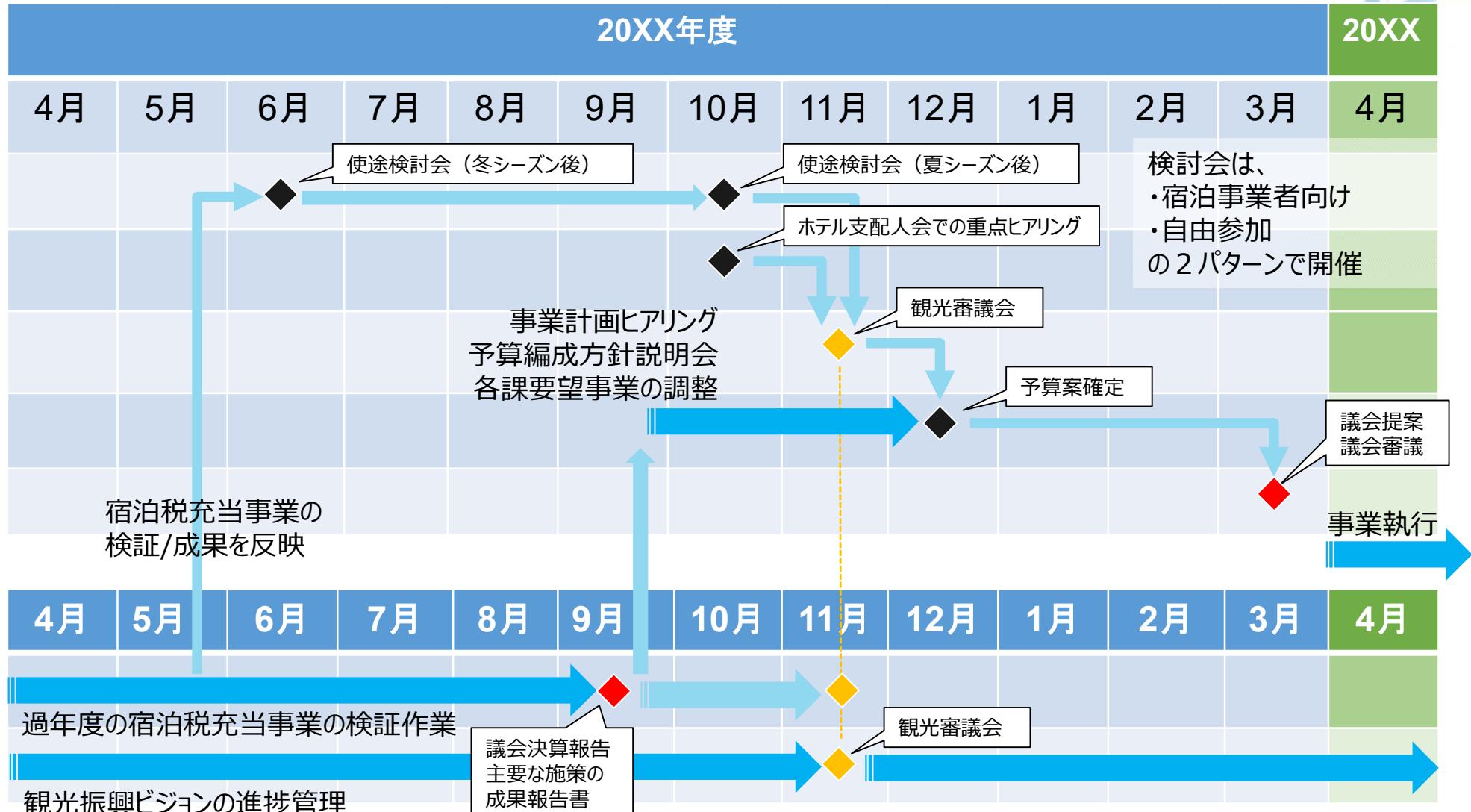
宿泊税
Accommodation Tax



Japan.
Endless
Discovery.



使途決定・検証のプロセス/サイクル



6月 使途検討会の開催 ※3回開催



9月 オンラインフォームでの意見募集（～10月末）※19件
※次年度以降、5～6月も実施



11月 使途検討会の開催 ※3回開催

主要ホテル情報連絡会での聞き取り
観光カフェの開催



聞き取った論点の整理

11月 観光審議会



予算編成作業、庁内要望調整

12月 予算案提出



3月 議会審議

宿泊税の使途と観光振興ビジョン

NISEKO
HOKKAIDO JAPAN

使途方針	使途事業（案）	観光振興ビジョン 紐づけ	
		目指すべき地域の姿	基本戦略
地域内交通の充実	循環バス運行（増便・増系統、夏季運行等） 空港連絡バス運行、冬期タクシー強化 デマンドバス強化、DX化等	・高品質・高付加価値の国際リゾート ・町民が誇れる国際リゾート	・観光客の多様な価値観への対応と受け入れ環境の整備 ・観光によって町民生活の質を高める
宿泊事業者の地球環境負荷の低減を促進・支援	ニセコ町脱炭素・再エネ推進事業補助金（一般・事業者）の宿泊事業者向けパワーアップ補助等（対象想定）太陽光発電・蓄電池・高効率エアコン・高効率給湯器 (別途検討) 廃プラスティック、排水浄化等支援	・成熟した通年型の国際リゾート ・町民が誇れる国際リゾート	・観光客の多様な価値観への対応と受け入れ環境の整備 ・観光によって町民生活の質を高める ・観光産業の安定的な経済活動と地域貢献
観光協会組織強化、観光人材育成、観光DX化推進	観光協会人材、情報共有・プラットフォーム機能（事業者間連携）の強化、人材不足対策（スポットワーク等普及促進）人財確保緊急対策補助（事業者の雇用対策、職場環境改善事業への支援）	・成熟した通年型の国際リゾート ・高品質・高付加価値の国際リゾート ・町民が誇れる国際リゾート	・観光客の多様な価値観への対応と受け入れ環境の整備 ・観光によって町民生活の質を高める ・観光産業の安定的な経済活動と地域貢献
景観・環境保全対策	景観や環境保全の取り組み、フットパスや自然体験等充実、ニセコルールの運用強化 ネガティブ情報払拭、観光客行動変容促進	・成熟した通年型の国際リゾート	・観光客の多様な価値観への対応と受け入れ環境の整備
将来の観光需要への対応 ※年度間調整機能も	宿泊税基金条例への積立（例：災害・パンデミック対応等の初動事業費確保）	・成熟した通年型の国際リゾート	・観光客の多様な価値観への対応と受け入れ環境の整備
特別徴収義務者的事務負担への支援	宿泊税事務処理促進交付金（宿泊税の5%） ※他自治体は2.5~3.0%		

ニセコ町宿泊税 活用事業（案）

想定：約2.6億円 ※今後精査

①地域内交通の充実

○ニセコ周遊バスの拡充運行

通年化、両回り等の検討

○冬季移動利便性の向上

- ・町道ロードヒーティング実施
- ・モイワ↔アンヌプリ間の除雪実施
- ・登山道、一号線における砂まきの実施

○オーバーツーリズム対策

ニセコモデル、カーシェアの継続

○宿泊事業者が行う送迎の連携支援

送迎の連携等を効率化する場合に支援

②受入環境整備、観光地魅力向上

○Wi-Fi導入支援

今後エリアでWi-Fi導入する際の調査事業

○イベント開催支援

イベント等の開催に係る各種費用を支援

※複数者で連携する場合は、補助率アップ

③観光協会等のさらなる強化

○組織体制の強化

- ・コンテンツ創出等のための人材強化
- ・地域観光をマネジメントする体制の強化
- ・NPB、羊蹄山麓ほか広域観光の推進

④持続可能な観光地域づくり

○町内事業者の基盤強化

- ・キャッシュレス決済導入等DX推進補助
- ・脱炭素、再エネ推進事業補助金の継続

○夏季の誘客に向けた取組の実施

- ・夏の誘客に向けたプロモーションの実施
- ・グリーンシーズンのコンテンツの充実

○景観・環境保全等

- ・ニセコルール、なだれ情報の継続

⑤特別徴収義務者事務負担支援

宿泊税の5% ※他自治体は2.5~3.5%

①地域内交通の充実



宿泊税活用

Accommodation Tax

想定：約13,920万円 ※今後精査

事業名	概 要	R6 (万円)	R7 (万円)	R8 (万円)
ニセコ周遊バスの拡充運行	通年化（今夏実証運行を実施）、コースの両回りの検討を進めるほか、JR最終便との接続等を図る。 ※バスのドライバー不足が課題	1,776	2,600	4,500
町道等ロードヒーティング	スキー場へのアクセスの際に滑ったり、スタックする車があり、事業者からも要望が多いことから、ロードヒーティングを実施する。 ※導入工事もあるため、費用が大きくなる	—	—	6,000
モイワ↔アンヌプリ間除雪 登山道等における砂まき	事業者から要望が寄せられた項目であり、安全安心確保の観点からも継続して実施する。	180	200	220
タクシー ニセコモデルの継続	効率的な配車方法の検討も進めながら、タクシーの増台を行う。 ※国補助等の活用を図っていく（R6は国費活用）	510	1,422	2,000
カーシェアの継続	ニセコ駅、町民センターに継続設置しつつ、より大きな車への車種変更等も検討する。	391	436	500
宿泊事業者の送迎連携支援	各事業者が行う送迎について、連携して実施する等効率化を図る場合に支援を行う。 ※ニセコ周遊バスの拡充運行に係る内容とも連動	—	—	500
移動時の安全・安心の確保	観光エリアの町道等におけるラインレーザーや点滅矢羽根の導入、標識の記載改善等移動時の安全性向上に係る検討を行う。	—	—	200

※自動運転の実装等について、要望が多いことを踏まえ、検討は進める

②受入環境整備、観光地魅力向上



宿泊税活用
Accommodation Tax

想定：約3,500万円 ※今後精査

事業名	概 要	R6 (万円)	R7 (万円)	R8 (万円)
Wi-Fi導入調査、実証事業	<p>事業者からの要望も多いエリアにおけるWi-Fiの導入について、まずは調査事業を行い、具体的な設置の可能性を探る。</p> <p>あわせて、スケジュール次第では、導入に向けた実証事業も行う。</p>	—	—	2,000
イベント開催支援	<p>グリーンシーズンの誘客等に向けて、新たにイベントを開催、あるいは既存イベントにおいて、プロモーションに力を入れたりする等強化を図っていく場合に支援を行う。</p> <p>(イメージ) ○新規イベント 　1者で行う場合：補助率1/2 上限100万円 　複数で行う場合：補助率2/3 上限200万円 ○既存イベント 　強化を図る場合：補助率1/2 上限100万円</p>	—	—	1,500

③観光協会等のさらなる強化



宿泊税活用
Accommodation Tax

想定：約3,250万円 ※今後精査

事業名	概 要	R6 (万円)	R7 (万円)	R8 (万円)
コンテンツ創出等組織強化に 係る人材の確保	事務局長が期限付きであること、旅行商品の造成を はじめとしたコンテンツ創出等ができていない現状 を鑑みて、事務局長（期限なし）を新たに雇用すると ともに、旅行業経験のある人材、広報人材等の雇用 を行い、観光協会の組織体制強化を図る。	—	—	2,500
地域観光をマネジメントする 体制の強化	人材の確保による強化に加えて、地域観光の底上げ や広域観光の促進等、地域の観光をマネジメントする ための組織体制の強化を検討する。	—	—	250
広域観光のさらなる推進	地域連携DMOであるニセコプロモーションボード (NPB) 等について、マーケティングのさらなる強化 や、来訪者満足度調査・経済波及効果調査の実施、 データ分析プラットフォームの利活用等を支援し、 広域観光の推進を図る。	—	—	500

④持続可能な観光地域づくり



宿泊税活用
Accommodation Tax

想定：約3,500万円 ※今後精査

事業名	概 要	R6 (万円)	R7 (万円)	R8 (万円)
DX推進補助	自動チェックイン機やキャッシュレス決済対応端末等、省人化や生産性向上に繋がる観光DXの導入に対する支援を行う。	—	—	1,000
グリーンシーズンのコンテンツ充実	観光課題であるグリーンシーズンの誘客に向けて、トレイル、フットパス等山岳リゾートに適したコンテンツ開発や、温泉、ガストロノミーなど既存コンテンツ等の連携を図っていく。 ※主体：ニセコリゾート観光協会	—	—	1,000
夏の誘客に向けたプロモーションの実施	観光課題であるグリーンシーズンの誘客に向けて、造成したコンテンツやペンションをはじめとした宿泊施設の魅力を発信すべく、SNSやインフルエンサー等を活用しプロモーションを行う。 ※主体：ニセコリゾート観光協会	—	—	1,000
MICE等誘致補助	ニセコ町へのMICE等誘致に係るバス代、会場費、ニセコ町の特産品を活用する場合に支援を行う。	—	—	200
ニセコルール等の継続	冬のニセコエリアの自然資源に関する取組であるニセコルールやニセコなだれ情報を継続していくために活用する。	—	—	300

<その他>

特別徴収義務者事務負担支援：約1,300万円 ※宿泊税収の5%（他自治体は2.5～3.5%）

将来の観光需要への対応 : 約1,300万円 ※宿泊税収の5%

後述する中長期的な事業等に活用するため基金に積み立てるが、災害等発生時の初動対応にも活用

⇒**各事業の合計：約26,770万円（約2.6億円）** ※今後精査

<中長期的に活用を想定する事業>

○地域内交通の充実

- ・自動運転の実証

○受入環境整備、観光地魅力向上

- ・道の駅の再整備ほか温水プールの整備検討等観光施設の充実

○景観・環境保全等

- ・ごみ問題、浄化槽問題への対応
- ・無電柱化事業の推進